校友時報

發行所 秋田縣立能代南高等學校
發行人 關谷嘉門
編集人 新聞部
印刷人 能代印刷所

LATINIC
Type setting
&
Printing

Printing Co., Ltd.
Add.: Hatamachi.
Tel: 262, 275.

祝二十五週年記念日

創立二十五周年

學校長　關谷嘉門

長校谷關

一昨年落成記念式を挙行してから、着々内容の整備にまだ記憶に新らしい前であたつて参つたが、それも大方の御協力によつて、不満乍ら日々の勉学に差支ないようになり全く御同慶に堪えない、恰も時本校創立二十五周年を迎えた事は、意義深いことであり、諸君とともに学校の發展を祝福し、併せて覺悟を新たにしたい

顧みれば大正十四年第一回入学式を挙行し直ちに校舎建築にかゝり、草創の多難な時代を職員、生徒一丸になつて開拓し、間もなく落成、校歌、校旗を制定して五年九月二十三日落成式を挙行致したのである

この日が年々開校記念日として我々が祝つて居る日なのである、以來学校の設備は充實し、幾多の俊才を送り出し、休育の名聲を上げ全國にその名を馳せるに至つたのであり、その急速な發展には世人の齊しく瞬目する所となつたのである

これみな歴代校長　職員の熱烈な教育愛と綿密な教育施設によるばかりでなく、実に生徒諸君のたゆまない精進の結果であると思う

而して十九年二月發火に見舞われ校舎を全焼、次いで終戰を迎え、艱苦の年々を経て、今日の隆盛を見るまで努力していただきたい、私も先生方と大いに語り、大いに計り以つて光榮ある歴史に意義深い頁を重ねて行き度いと思う、諸君の一層の自奮自勵を望み所懷の一端をのべて記念日の挨拶とする

我々は先人のなした事を顧みても自分の使命とするところに着實に進む事の重要さを感ずるのであるが、この道は勉学に勤しむ事と体育に精勵する事につきるのではないかと思う

学の終極の目的は各人が自己を完成し、個性を伸長し人類社会に役立つ事であり体育はそれを健康に正常に導くの手段である

諸君は時流の弊に押し流される事なく、青年の持つ純情を發揮し日々を満ち足りた力となつたことは喜びの限である

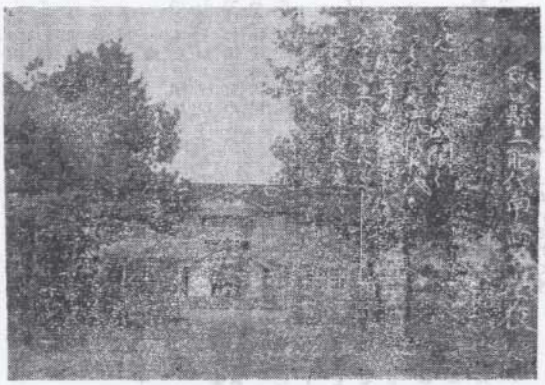
二十五周年を迎えて

前PTA会長　藤田成治

藤田成治氏

二十五年前開校式を挙げた當時のことを想起して感慨深いものがある　こゝ一帯は校歌にも織込まれている通り如く　樽子山と云うて松林で住民の落葉かきや芋狩の遊びする處であつた、當時の能代としては眞に誇とする校舎で教育の關心をたかめ少年の向学心を湧きたたせたこと大であつた

秋田縣には當時秋田、大館の組織等も戰前とは全く一変しまして特に母校に於て戰後に於ける教育法も又そ事新しく言うまでもなく終戦前より本日まで幾多の諸先生、父兄、卒業生の各位がたゆまぬ愛校の熱情と努力に依つて築き上げ　全國に先だつて如何に地方の人が能代中学はホームルーム、生徒会が組織され私達の時代の注八



○辯論大会　廿四日午前
○展覽会　廿三、廿四日
○運動会　卅日午前八時半

多彩な祝賀行事

○音樂と演劇の夕　二十三日六時半

創立廿五周年に寄せて

PTA会長　佐藤勝藏

大正十四年四月第一回入学式を挙行以來延々廿有五年の歳月を經て秋天漸く清く万象が亦一轉するときに當り、此處に本校創立第廿五周年記念日を迎えるに至りましたことは誠に慶賀すべきことであります、不肖氏は生徒会の目的目標をハキリ見極め、廿五年間築名会長藤田成治さんの後任としまして本校PTA会長として本校PTA会長き上げたこの諸先輩の偉業の推薦を頂き、その非才をの過去をふり返り、各自の省み再三御辭退を申上げましたが大方諸先輩のお薦め行動を強く反省し、より一もあり、遂に就任をお引受段と先生達の御指導に依りけ致した次第ですが、その非力を心配して居るもので、申すまでもなく廿五年前より本日まで幾多の諸先生、父兄、卒業生の各位がたゆまぬ愛校の熱情と努力に依つて築き上げ　全國に先だつて如何に地方の人が能代中学はホームルーム、生徒会が組織され私達の時代の注八

大正十四年四月第一回入学式を挙行以來延々廿有五年が何かを求め様とするやりの歳月を經て秋天漸く清く方に変つてゐると思つてお万象が亦一轉するときに當ります

新校舎も既に成り校長始め諸先生亦御經驗に富み德望のある方々であり、生徒諸のある方々であり、生徒諸氏は生徒会の目的目標をハ名会長藤田成治さんの後任ツキリ見極め、廿五年間築の過去をふり返り、各自の行動を強く反省し、より一段と先生達の御指導に依りこの生徒会を活かして行く様切望して止みません

今後はPTA　生徒一体となりこの盛儀に應えられる様努力致したいと思います

主義の教育方式も学生自身の偉業を讃しつゝある能校の傳統を今度は更に一層に三者一糸亂れない團結に依つて向上につとめたいと念願してる次第です

新聞部員募集！

十月の過ぎるのと共に三年生は部の仕事から手をひきますので一、二年生で入部したい生徒は、現部員へ申込んで下さい。入部を大歓迎します。

部長

祝　能南創立廿五周年記念

秋田縣教育委員會
委員長　人見誠治
副委員長　西村節朗
教育長　吉田慶助

能代市長
柳谷清三郎

能代市學務課長
富田彦二郎

山本地方事務所長
小林捷夫

能南PTA會長
佐藤勝藏

能南高同窓會長
吉武榮一

縣教委能代山本出張所長
大山結太郎

本校沿革略史

大正一二、一二、一三　秋田縣立能代中學校設立認可
一四、二、一九　武藤健三郎氏校長發令
一四、四、六　第一回入學式挙行　二學級（縣立能代工業講習所で授業開始）
一四、四、一六　休操場着工
一四、九、一〇　校舎本館着工
一四、一二、一一　校舎を新築の体操場に移轉
一四、五、六　父兄会創立
一五、五、六　校旗制定
一五、五、一三　校舎を新築の本館に移轉
一五、八、二一　校舎落成
一五、九、一六　校歌制定
一五、九、二三　落成式挙行（開校記念日）
昭和五、四　同窓会創立
七、八、二七　玉木正行氏校長發令
九、六、二八　小松清吉氏校長發令
一一、一、一五　西田平一氏校長發令
一五、一二、一一　体操の施設経營優秀の故を以て休操表彰会より表彰
一六、七、三〇　新家利一氏校長發令
一六、四、一　學級増加三學級募集
一六、一二、一〇　高橋一郎氏校長發令
一八、四、三〇　潮田潔氏校長發令
一九、二、一五　柔道場鉄器庫を残し校舎全焼長根町の假校舎に移轉
一九、五、三〇　吉田慶助氏校長發令
二〇、四、一　學級増加四學級募集
二〇、一一、一九　藤原甚氏校長發令
二一、一〇、一九　關谷嘉門氏校長發令
二二、一、三〇　能代中學校再建同盟結成
二二、七、七　校舎再建工事着手
二二、二、一七　第一期工事（本館其他）竣工
二二、三、一〇　新校舎に移轉
二二、四、一　新學制實施により新制高等學校に轉換、秋田縣立能代南高等學校と改稱
二二、六、一　定時制課程附設（二ツ井、藤琴、常盤八森に分校）
二三、六、二五　定時制課程中心校入學式挙行三學級
二三、八、七　増築工事（理科室）起工
二三、八、一七　第二期工事（体操場其他）竣工
二三、九、三　定時制藤琴分校開校式挙行二學級
二三、九、一七　同二ツ井分校開校式三學級
二三、九、二三　再建校舎落成式挙行

歴代校長

就任年月日　轉退任年月日　在職期間　氏名　本籍
大正一四、二、一九　昭和七、八、二七　七年六ヵ月　武藤健三郎　福島
昭和七、八、二七　同　九、六、二八　一年一〇ヵ月　玉木正行　山口
同　九、六、二八　同　一一、一、一五　一年七ヵ月　小松清吉　群馬
同　一一、一、一五　同　一四、七、三〇　三年六ヵ月　西田平一　山口
同　一四、七、三〇　同　一六、一一、三〇　三年四ヵ月　新家利一　石川
同　一六、一一、三〇　同　一八、四、三〇　一年五ヵ月　高橋一郎　秋田
同　一八、四、三〇　同　一九、五、一五　一年一ヵ月　潮田潔　茨城
同　一九、五、一五　同　二〇、一一、一九　一年六ヵ月　吉田慶助　秋田
同　二〇、一一、一九　同　二一、一〇、二九　九ヵ月　藤原甚　岡山
同　二一、一〇、二九　關谷嘉門　岐阜

校歌

一
そのかみはるか城闕く
盡きせぬ流れ米代の
水にわれらの靡しき
若き生命を讃えつゝ
若き生命を讃えつゝ

二
み空につゞく日本海
沖より寄する巨濤の
厳をつんざく勢に
強き力を学びつゝ

三
平和の相　樽子山
常盤の緑　旭日に
映えてわれらの靡しき
清き操をたゞえつゝ
清き操をたゞえつゝ

四
驚りも高き學び舎の
象徴をかゝげひたすらに
學びの道を究めよや
奮え松陵健男兒
奮え松陵健男兒

校地及校舎

校地總面積　一萬二千坪（内運動場　七千坪）

名稱	坪數	名稱	坪數
本館	三〇六坪三五五	運動器具室	一五五坪〇〇〇
理科室	九六坪〇〇〇	宿直室小使室	三三坪三〇〇
体操場	一一〇坪〇〇〇	附屬廊下	三三坪二四〇
昇降口	三〇坪〇〇〇	住宅	三三坪〇〇〇
物置二棟	四一坪〇〇〇	寄宿舎	八八坪〇〇〇
便所三棟	三三坪三四〇	校舎建坪計	八三五坪三六五五

七氏に表彰狀

本校発展に多大の功蹟

本校創立二十五周年の記念式典に當り本校の發展の爲に大いに盡力なされた左の七氏が記念式にて表彰される

（⑪本校勤務期間②轉任③現住所）

○菅原英之助氏（十六年二ヶ月勤務）
①昭和六年十月一日～昭和廿三年七月廿六日
②教練・事務
⑧市内東住吉町

○相馬鉄藏氏（十六年十一ヶ月勤務）
②弓道
③市内昌町

○鈴木勇氏（十一年間勤務）
1 大正十五年三月～昭和十二年末
2 國語
3 鶴島縣鄙山高校

○長内直吉（廿一年間勤務）
1 昭和四年四月廿日～昭和二十五年現在
2 歯科醫
3 市内昌町

○藤田成治氏
▽父兄会草創時代に同会幹事
▽昭和廿一年同会長就任
▽昭和廿三年PTA会長に就任
▽昭和廿五年同会長辭任

○小竹寛治氏（十八年間勤務）
1 大正十五年九月～昭和十九年三月廿一日
2 英語
3 新潟縣糸魚川高等學校

○野口武治氏（十六年間勤務）
1 大正十五年二月～昭和十七年末
2 事務・珠算
3 市内富町追分

○太田口政治（十八年二ヶ月勤務）
1 大正十五年三月廿一日～昭和十九年五月廿一日
2 体操
3 秋田市中谷地町

○小竹寛治氏（十八年間勤務）
1 大正十五年九月～昭和十九年三月廿一日
2 事務・珠算
3 市内富町追分

○太田口政治（十八年二ヶ月勤務）
1 大正十五年三月廿一日～昭和十九年五月廿一日
2 体操
3 秋田市中谷地町

○長内直吉（廿一年間勤務）
1 昭和四年四月廿日～昭和二十五年現在
2 歯科醫
3 市内昌町

○藤田成治氏
▽父兄会草創時代に同会幹事
▽昭和廿一年同会長就任
▽昭和廿三年PTA会長に就任
▽昭和廿五年同会長辭任
▽本校校舎再建の盡力
▽高校轉換に際して校内設備の充実

主なる功蹟

祝二十五周年記念

生徒会委員長　仲村浩一

母校の創立二十五周年を迎え、この良き學府は今後益々發展してゆく事でしょう。併し諸君、私達は廣大な未來に雄々しく立上つてゆく母校を想像する時、今までの私達の兄達が歩んできた兄弟が新しい心持で一家の繁榮を謳ぐ樣にあの微笑ましい幸福感で埋め盡くされているのです。

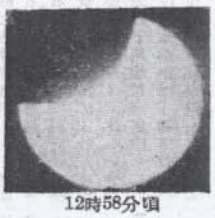
二十五年間の堂々たる歩み戰時の世に生れてからこの民主主義の世に晴ればれしい名乘りを上るまでの幾多の困難、今考えてみますと全てが、今日の爲の準備期間であつたと云う風にも考えられるのです。私は今過去から現在へと一時も何ら汚名を受ける事もなく、眞に能代市民の　いや秋田縣民の良き學舎、修養所としてその使命盡してきた本校の誕生日に双手を上げて歓喜せず中にはいられないのです。

母校の創立。この良き學府は今後益々發展してゆく事でしょう。併し諸君、私達は廣大な未來に雄々しく立上つてゆく母校を想像する時、今までの私達の兄達が歩んできた行動をよく熟知し　反省してみなければなりません。正しい企画のない所に立派な成功は望まれない筈です。それと同樣に何と云つても母校の成長は如何に諸君が母校を愛し育くんでゆくかという事にあるのです。もし諸君が母校を深く～愛するならば今後の幾多の困難も喜ばしい成長への糧となる事でしょう。この良き記念日に私は強く～諸君達がより一層母校を愛され事を主張して祝辭といたす次第です

ヴィデオ

愈々この二十五周年記念号を最後として長く本校の文化發展の爲に盡力した三年生十五名は退部する事に決定した。憶えば津島さん等から部の仕事を受け繼いで約一年間、部の土台を築く爲のこの一年間は正に苦闘の一年間であつた。而し土台も今では八分通りの完成を見た事は嬉しい限りである。ただ本紙の全員購讀を置き土産に出来なかつたのを悔む。　―編記―

科學部日食観測に成功



12時58分頃

今日は九月十二日、待望の「日食」観測日と張り切つていた科學部員は朝からの曇天に寫眞撮影は不可能と悲観しておつたが、十二時半頃より待望の太陽は雲間にちら～と顔を見せ、この貴重な瞬間を待機中の寫眞班員はカメラにキヤツチして寫眞撮影に成功したなお同時に氣温、氣壓等の氣象要素の観測も部員の努力に依つて成功した

秋田縣立能代工業高等學校長　御木三儀
秋田縣立能代北高等學校長　小野兼次郎
秋田縣立能代農業高等學校長　伊藤弦治
能代市立高等學校長　安藤五郎
能代南高等學校醫　松野朝造　小林武櫻　渡邊武雄　野呂田邦輔
能代南高等學校　運動部一同
能代南高等學校　文化部一同
能代南高等學校　新聞部一同